

# 授業科目 NO. 209 疾病・治療論Ⅲ

## : 腎・泌尿器・免疫・血液・神経内系

Clinical Medicine III

: Nephrology, Urology, Hematology, Immunology, and Neurology

授業の形態 : 講義

単位数(時間数) : 2単位(30時間)

開講年次・学期 : 1年次・後期

必修・選択の別 : 必修

キーワード : 腎臓疾患、泌尿器および生殖器系疾患、血液系疾患、アレルギー疾患、自己免疫疾患、神経疾患

### 1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

### 2 学修目標

#### 1) 一般目標 (GIO)

疾病・障害を知る上での病理学的な病気の成り立ちと疾患の基礎知識を修得し、腎泌尿器系疾患、血液免疫系疾患、神経疾患の病態生理、臨床症状、診断、検査、治療の基本を理解する。さらに、疾病に対する発症予防や健康管理、回復促進法について具体的事例を通じて学修する。

#### 2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 腎臓疾患の症状、病態生理、検査、診断、治療法と予防法を理解できる。(②)
- (2) 泌尿器系疾患の症状、病態生理、検査、診断、治療法と予防法を理解できる。(②)
- (3) 血液系疾患の症状、病態生理、検査、診断、治療法と予防法を理解できる。(②)
- (4) 免疫系疾患の症状、病態生理、検査、診断、治療法と予防法を理解できる。(②)
- (5) 神経疾患の症状、病態生理、検査、診断、治療法と予防法を理解できる。(②)

### 3 学修内容

授業の内容については、授業計画に示す。

## 4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	80%
実習成績	%
小テスト・レポート	20%
授業態度	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

### 【内訳】

解剖・生理：小テスト 5%

腎臓内科：定期試験 26%、小テスト 5%

泌尿器科：定期試験 14%

血液免疫内科：定期試験 26%、小テスト 5%

脳神経内科：定期試験 14%、小テスト 5%

## 5 教育担当者

科目責任者：島田 ひろき

教 授	島田 ひろき (医科学)
教 授	古市 賢吾 (腎臓内科学)
教 授	福島 俊洋 (血液免疫内科学)
教 授	朝比奈 正人 (脳神経内科学)
助 教	國井 建司郎 (泌尿器科学)

## 6 ナーシングガイド

助 教 金松 瑞代 (成人看護学)

※ナーシングガイドとは、疾病・治療論の初回授業時に、科目全体の構成および看護系科目との関連を、学生に 10 分程度で説明する役割を担う看護系教員のことをいう。

## 7 教 科 書

- 1) 井出隆文他 (著)：系統看護学講座 成人看護学 [7] 脳・神経、医学書院
- 2) 大東貴志他 (著)：系統看護学講座 成人看護学 [8] 腎・泌尿器、医学書院
- 3) 飯野京子他 (著)：系統看護学講座 成人看護学 [4] 血液・造血器、医学書院
- 4) 岩田健太郎他 (著)：系統看護学講座 成人看護学 [11] アレルギー 膠原病 感染症、医学書院

## 8 推 薦 参 考 書

浅野嘉延、吉山直樹 (編)：看護のための臨床病態学、第 4 版

北村聖 (総編集)：臨床病態学 1, 2, 3、ヌーヴェル・ヒロカワ、第 2 版

福島：矢野久子、御供泰治：ナーシング・グラフィカ 12：生体防御機能障害、メディカ出版

朝比奈：河村満（編著）：メディカルスタッフのための神経内科学、医歯薬出版

## 9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 180 分程度必要です。

島田：系統看護学講座 成人看護学 [7] 脳・神経の第 2 章、成人看護学 [8] 腎・泌尿器の第 2 章、成人看護学 [4] 血液・造血器の第 2 章および成人看護学 [11] アレルギー 膠原病 感染症の第 2 章を読んでおくこと。

古市：講義資料は e-syllabus に予め up しますので、講義までに資料に目を通してください。講義時間の説明でも理解できない内容は、積極的に質問してください。

福島：オリエンテーション時に講義における注意点を記載した資料を配布しますので、よく読んで下さい。講義資料は e-syllabus に予め up しますので、講義前日までに熟読し、理解できない内容は講義の中で理解できるよう、積極的に質問するとともに、自己学修として教科書、参考書の関連事項を確認して下さい。

朝比奈：メディカルスタッフのための神経内科学の第 4 章の 1, 5, 6, 9, 10 を読んでおくこと。  
(系統看護学講座 脳・神経 成人看護学 7 の第 5 章など他の教科書でも可)

國井：事前にシラバスの資料に目を通し、理解できない内容をノートに記載しておくこと。

## 10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

島田：小テストは解答を公開します。

古市：小テストは講義の中で特に重要な内容から出題し、解答を講義で解説します。

福島：小テストは講義の中で特に重要な内容から出題します。内容については講義の中で再度取り上げ解説を行います。

朝比奈：小テストは講義の中から問題を出します。フィードバックは試験後に行います。

國井：最終授業で全体に対するフィードバックを行います。

## 11 履修上の注意事項

福島：講義は基礎医学と臨床医学の両面から進め、実地臨床に応用できる能力を身につけることを目標とします。必要に応じ特定のテーマに関する討議・レポート提出を求めます。

## 12 オフィスアワー等

※担当教員へ質問等がある場合は、事務課に連絡・相談した上で行動してください。

島田：質問などは e-mail (simada-h@kanazawa-med.ac.jp) で受け付けます。来室時間は e-mail などにて適宜相談します。

古市：質問などは e-mail (furuichi@kanazawa-med.ac.jp) で受け付けます。来室時間は e-mail などにて適宜相談します。

福島：質問などは e-mail (tfukus@kanazawa-med.ac.jp) で受け付けます。来室時間は e-mail などにて適宜相談します。

朝比奈：毎週金曜日 16 時～18 時がオフィスアワーです。場所は臨床研究棟 7 階の脳神経内科医局です。

國井：質問などは e-mail (kenshiro@kanazawa-med.ac.jp) で随時受け付けます。

## 第1学年 疾病・治療論Ⅲ：腎・泌尿器・免疫・血液・神経内系

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	11月05日(火)	4	講義	イントロダクション(看護学における腎・泌尿器・血液・免疫・神経内科疾患の位置づけと必要性)、腎・泌尿器・血液・免疫・神経の解剖生理	小テスト	医科学, 成人看護学	島田教授, 金松助教
後	2	11月12日(火)	4	講義	腎臓内科1 腎臓の構造と機能、主要症状1	小テスト	腎臓内科学	古市教授
後	3	11月19日(火)	4	講義	腎臓内科2 主要症状2、病態生理(急性腎障害、慢性腎障害)	小テスト	腎臓内科学	古市教授
後	4	11月26日(火)	4	講義	腎臓内科3 透析、腎移植、糸球体疾患(総論)	小テスト	腎臓内科学	古市教授
後	5	12月03日(火)	3	講義	腎臓内科4 糸球体疾患(糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群)	小テスト	腎臓内科学	古市教授
後	6	12月10日(火)	5	講義	腎臓内科5 全身性疾患による腎障害、その他の腎疾患、体液・電解質異常	小テスト	腎臓内科学	古市教授
後	7	12月10日(火)	4	講義	泌尿器科1 解剖・生理・検査	なし	泌尿器科学	國井助教
後	8	12月17日(火)	4	講義	泌尿器科2 泌尿器系疾患	なし	泌尿器科学	國井助教
後	9	11月11日(月)	5	講義	血液免疫内科1 主な症状と病態生理、診断と検査	小テスト	血液免疫内科学	福島教授
後	10	11月18日(月)	5	講義	血液免疫内科2 赤血球の疾患、白血球の疾患、造血器悪性腫瘍	小テスト	血液免疫内科学	福島教授
後	11	11月25日(月)	5	講義	血液免疫内科3 血小板・凝固系の疾患、輸血2	小テスト	血液免疫内科学	福島教授
後	12	12月02日(月)	5	講義	血液免疫内科4 免疫・アレルギー	小テスト	血液免疫内科学	福島教授
後	13	12月09日(月)	5	講義	血液免疫内科5 膠原病・自己免疫疾患	小テスト	血液免疫内科学	福島教授
後	14	11月06日(水)	2	講義	脳神経内科1 脳血管障害、神経免疫疾患	小テスト	脳神経内科学	朝比奈教授
後	15	11月13日(水)	2	講義	脳神経内科2 神経変性疾患	小テスト	脳神経内科学	朝比奈教授